

「もんじゅ廃炉」「高浜再稼働反対」

福井で全国集会

日本原子力研究開発機構の高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃炉を求める市民団体の全国集会と高浜原発の再稼働に反対する全国集会が5日、それぞれ福井市内で開かれた。

もんじゅの集会は福井市春山2丁目の市文化会館であり、約750人が集まった。もんじゅでナトリウム漏れ事故が起きた翌年から開催され、20回目だ。

NPO法人「原子力資料情報室」の伴英幸・共同代表と鈴木達治郎・長崎大核兵器廃絶研究センター長が対談した。伴氏は原子力規制委員会から出されたもんじゅの運営主体変更の勧告について、「(もんじゅ計画を)やめなさい」ということだ」と指摘。鈴木氏は

「事故から20年たち危機感が薄れている。核燃料サイクルをどうするのかゼロから議論するべきだ」と話した。最後に「危険で無駄なもんじゅに存在意義は何一つない。政府に廃炉の決断を下すよう要望する」などとする決議を採択した。

福井市花月1丁目の西公園では、高浜原発の再稼働反対集会があり、全国から約1200人が参加した。主催の「高浜原発3・4号機の再稼働を本気で止める！全国集会実行委」の中畠



哲演代表は「福井地裁では再稼働差し止めのすばらしい仮処分決定が出た。今こそ本気で立ち上がりましょう」と呼びかけた。その後、参加者たちは「再稼働反対」「原発いらない」とシュプレヒコールを上げて、市内をパレードした。

(大野正智、小川詩織)

①「もんじゅ」の廃炉を求めてシュプレヒコールを上げる集会参加者たち＝福井市春山2丁目
②高浜原発の再稼働に反対する全国集会で、シュプレヒコールを上げる参加者たち＝福井市花月1丁目